

## 2022年 特定非営利活動法人日本BPW連合会 東京宣言

日本BPW連合会は、2022年6月4日の東京大会において「“災害”の時代のリスクマネジメント」を共通テーマに4つの視点から分科会で議論を重ねた結果、以下の宣言を採択する。ジェンダー不平等は最大のリスクという認識に基づいて、これらを異次元のスピードで推進することを強く求める。

### 【経済】 女性の経済的自立を実現するために、次の提言をする。

1. 女性活躍推進法関連政策を変更し、男女の賃金格差を「見える化」とするとともに、賃金格差解消のための具体的行動計画の作成を事業主に求める。
2. 女性が自らの生き方を選択できるよう、女性活躍推進の現状や取り組みに関するさらなる情報開示を事業主に求める。
3. 女性の働き方の制限に繋がる第3号被保険者制度を迅速に見直す。

### 【政治】 議員の半分以上を女性にするために、次の提言をする。

1. 政治が日々の生活に関わることを学ぶ当事者教育を初等教育の段階から取り入れる。
2. 選挙DX\*を積極的に導入することにより、投票行動につなげ、民意を高める。
3. 実効性のあるクォータ制導入により、女性の政治参画を加速する。
4. 小選挙区制の見直し、小選挙区比例代表並立制の廃止、比例区1位を必ず女性にするなど、公職選挙法の改正を求める。
5. 防災での意識改革には、地域リーダーの育成が重要である。性差・年齢など多様な人材が関与することを通じて、政治や自治体運営での女性活躍の場を広げる。

\*選挙DX：選挙のDX（デジタル・トランスフォーメーション）とは、SNSが広報ツールだけでなく、双方向性コミュニケーションを可能にし、有権者は候補者や政治を知り、さらに政策に関わる機会を得ることができる。また、インターネット投票が可能になれば、より幅広い層が投票し、選挙に民意が反映されることにつながる。

### 【教育】 教育におけるジェンダー不平等の解消のために、次の提言をする。

1. 誰もがアンコンシャス・バイアスを持っていることを前提に、固定的役割分担意識を押し付けない教育を学校、地域、家庭で推進する。
2. 教育現場におけるジェンダー平等の実態をきめ細かく調査することによって、不平等な現状を「見える化」し、是正する。
3. 自己肯定感を高める教育を推進する。
4. 国際的な動向を視野に入れ、STEM教育の充実を図る。

### 【防災・減災】 ジェンダー不平等による災害時のリスクを軽減させるために、次の提言をする。

1. ジェンダー平等推進が防災・減災につながるという認識を共有し、防災・減災対策に関わるあらゆる組織への参画を男女50対50とする。
2. 平常時から災害に対する危機意識を高め、自助・共助・公助の相互連携を強化する。
3. 災害時に増える性暴力・ハラスメントの防止等、ジェンダーの視点から防災・減災に取り組むことができるリーダーの養成に努める。